

教科（科目）	数学Ⅱ	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（普通・スポーツコース）
使用教科書	最新 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材等	改訂版 基本と演習テーマ 数学Ⅱ（数研出版）				

1 学習目標

- 式の計算と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分について理解し、基礎的な知識を身につけさせる。
- 基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 指導の重点

式の計算と方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分と積分について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	4章 三角関数 2節 加法定理	教科書 副教材	加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成	講義 問題演習(学び合い)	6	課題テスト 授業の取組
5	5章 指数関数と対数関数	教科書 副教材	指数法則 指数関数とそのグラフ 対数	講義 問題演習(学び合い)	7	中間考査 授業の取組
6	5章 指数関数と対数関数	教科書 副教材	対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	講義 問題演習(学び合い)	7	期末考査 授業の取組
7	6章 微分法と積分法 1節 微分法	教科書 副教材	平均変化率と微分係数 導関数 微分法の公式	講義 問題演習(学び合い)	7	授業の取組
8 9	6章 微分法と積分法 1節 微分法	教科書 副教材	微分法の公式 接線 関数の増減	講義 問題演習(学び合い)	9	課題テスト 授業の取組
10	6章 微分法と積分法 1節 微分法	教科書 副教材	関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小	講義 問題演習(学び合い)	7	中間考査 授業の取組
11	6章 微分法と積分法 1節 微分法	教科書 副教材	関数の最大・最小 方程式・不等式への応用	講義 問題演習(学び合い)	7	授業の取組
12	6章 微分法と積分法 2節 積分法	教科書 副教材	不定積分 不定積分の計算	講義 問題演習(学び合い)	6	期末考査 授業の取組
1	6章 微分法と積分法 2節 積分法	教科書 副教材	定積分 定積分の性質	講義 問題演習(学び合い)	6	課題テスト 授業の取組
2	6章 微分法と積分法 2節 積分法	教科書 副教材	面積	講義 問題演習(学び合い)	2	学年末考査

計64時間（55分授業）

4 課題・提出物等

- 定期考査時に、それまでの取り組みがわかるノート等の提出を課する。
- 長期休業中の課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとしている。	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決できる。	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ ・授業の取組（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況等） ・定期考査 等から総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

学習の基本である授業を大切にしましょう。受け身で臨むのではなく、自ら積極的に考えることが大切です。数学Ⅱは、数学Ⅰ・Aに比べ学ぶ内容が多く、高度になっています。それゆえ、毎日の家庭学習が不可欠です。授業の内容をその日のうちに復習し、理解できているか確認することが重要です。問題が解け、理解できたときの達成感や満足感を得られるように粘り強く頑張りましょう。